Creative Enzymes®

マウス由来ピルビン酸キナーゼM2活性、組換え品

Cat. No. NATE-0939

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ピルビン酸キナーゼM2（PKM2）は、特定の分化した細胞および□殖活性のある細胞で発現するピルビン酸キナーゼのアイソフォームです。PKM2は、がん細胞でしばしば過剰発現しています。
別名	M2-PK腫瘍; OPA相互作用タンパク質3 (OIP-3); ピルビン酸キナーゼ3 (PK3); ピルビン酸キナーゼ; 筋肉; 甲状腺ホルモン結合タンパク質1 (THBP1); ピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールピルビン酸キナーゼ; ホスホエノールトランスホスホリラーゼ; ピルビン酸キナーゼ (リン酸化); フルオロキナーゼ; フルオロキナーゼ (リン酸化); ピルビン酸キナーゼ; ピルビン酸ホスホトランスフェラーゼ; ATP:ピルビン酸2-O-ホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種	マウス
由来	大腸菌
形態	水溶液、25 mM Tris-HCl、pH 8.0、100 mM NaCl、0.05% Tween-20、30% グリセロールおよび 3 mM DTT で調製。
CAS登□番号	9001-59-6
分子量	58 kDa
純度	90%以上 (SDS-PAGE)
単位定義	1ユニットは、37°Cで1 pmolのADP/minにリン酸エステル基をホスホエノールピルビン酸（PEP）から転送するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-70°Cで保管してください。複数回の凍結-解凍サイクルを避けてください。